



ISOE NEWS

Electronic edition

www.isoe-network.net

ISOE News No.22, 2014 年 3 月

ISOE アジア・欧州・北米・IAEA 技術センター (TC) 作成

ISOE ニュースは ISOE 共同事務局(OECD/NEA-IAEA)のプロジェクトである

ISOE 国際ワークショップ

原子力エネルギー協会 (NEI) の主催、そして OECD 原子力機関 (OECD/NEA) と国際原子力機関 (IAEA) との共催による、シビアアクシデントにおける職業放射線防護の国際ワークショップ (<http://www.oecd-nea.org/jointproj/isoe/workshop/>) が、職業被ばく情報システム (ISOE) によって米国のワシントン DC で 2014 年 7 月 17 日・18 日に開催される予定である。

このワークショップの目的は、シビアアクシデントへのアプローチについての経験と実践を共有することである。ワークショップで、以下のことが行われる予定である。

- ・原子力電力事業者および規制機関によるシビアアクシデントへのアプローチやそれに関連する問題について、各国および国際的な関連事項を含む情報や経験についての交換の場を、国際フォーラムに提供する。
- ・戦略や実践における最適な職業放射線防護のアプローチを定義し、また効果的な管理を進展するための制限を定義する。これには、様々な国における経験が含まれる。
- ・ISOE の EG-SAM の最終報告書に組み入れられる各国の経験について確認する。

このワークショップでは、様々な国によりシビアアクシデントについての実践や経験の概要に関する発表が数多く行われる。さらにその後のセッションでは、中間報告書の内容を踏まえて共通のテーマや問題についての議論が行われる。各セッションは、それぞれの参加者が報告書に含められるような各国の経験について議論できるように、専門家により進められる。各セッションでの結論は、より効果的なシビアアクシデント管理を達成するためのより良い方法という視点から、議論の後にそれぞれの専門家によって全体セッションで紹介される。

ワークショップの登録費用は不要であるが、参加人数は限られており事前登録が必要である。登録の期限は 2014 年 5 月 30 日である。また以下のウェブサイト登録することができる。

<http://www.oecd-nea.org/confdb/confdb/conf?id=142>

北米 ALARA シンポジウム

2014 年の最初の地域シンポジウムが、NEA の協力を得て北米技術センター (NATC) により 2014 年 1 月 12 日～15 日にフロリダ州のフォートローダーデールで開催された。ISOE の ALARA シンポジウムの目的は、原子炉の運転について安全で効率的な運用をするために、放射線防護の専門家が線量低減の経験や学んだ教訓について交換し合うことである。シンポジウムには 100 名以上が参加し、作業管理についての最新のアプローチ (例えば、ALARA の達成具合や学んだ教訓)、ソース・ターム低減手法、最良事例や停止時の化学特性などの原子力発電所における放射線作業管理についての論文や展示物が紹介された。また、短期間の燃料交換の停止時において職業被ばくの削減を達成したことに関しての、放射線作業管理について特別セッションも行われた。そして、燃料交換や保守停止の計画やスケジューリング、訓練や管理の効果的な手法についてのプレゼンテーションがあった。

欧州地域シンポジウム

2014年 ISOE 欧州シンポジウムは、ミュンヘン原子力発電所（BKW が運転者）とスイス連邦原子力安全検査局（ENSI）の協力を得て、ETC により開催される。シンポジウムは 2014 年 4 月 9 日から 11 日にかけて、スイスのベルンにて開催される予定である。取り扱われる主題は、放射線防護管理や線量測定およびモニタリング、ソース・ターム管理や事故状況について焦点を当てたものであり、設計や運転、デコミッションの各段階における職業放射線防護について言及したものである。

シンポジウムに先立って、一部の参加者向けの 3 つの特別な会合が 2014 年 4 月 8 日に行われる。

- ・放射線防護管理会合
- ・規制機関の代表者による会合
- ・CZT 測定の使用経験のフィードバックに関する会合

2014 年 4 月 11 日には、2 か所へのテクニカルツアーが行われる。

- ・ミュンヘン原子力発電所
- ・放射性廃棄物処理の研究を行っているモン・テリ岩盤研究所

デコミッション分野において、ISOE と CPD が協力する可能性

原子力施設のデコミッションは、将来における活動やその予算面において、各国にとって重要度が増している課題である。NEA における共同プロジェクト、すなわち職業被ばく情報システム（ISOE）と原子力施設廃止措置プロジェクトに関する科学技術情報交換協力計画（CPD <http://www.oecd-nea.org/jointproj/decom.html>）の共同プロジェクトにより、作業員や一般公衆および環境に安全をもたらすような、デコミッションや解体についての技術的側面に関する経験を得てきた。しかしながら、多くの課題や不明瞭さも残されたままである。

ISOE 運営委員会の決定に基づき、ISOE と CPD の事務局は 2014 年 4 月の共同会合において、原子力施設でのデコミッション活動における放射線防護に関する共同ワーキンググループ（JWG-PRD）の設立を提案することについて議論する予定である。今回のこの提案の主な目的は、職業被ばく防護の分野における良好事例を定義するのに役立つような実践的なケーススタディや専門的議論に焦点を当てて、原子力施設のデコミッションに直接関係する放射線防護の問題についての現状の知識や技術、経験について議論する場を専門家に提供することである。それには、以下が含まれる。

- ・職業被ばくの管理に重点を置いて、原子炉のデコミッション期間における放射線防護の実施についての、原子力産業界が利用できる情報と実際の経験について収集する。
- ・デコミッションにおける良好事例を達成するために主要な役割を果たす事実や側面（知識、経験、技術、規制要件や、ガイダンス、作業員の関与、情報交換とネットワークなど）を定義し、作業員への被ばくや運用コストについて可能な限り分析し分類する。

さらに、デコミッション分野での特別な活動についての NEA との共同プロジェクトを実施するために、また新たな共同ワーキンググループの設立の提案について議論するために、そしてそのワーキンググループによってさらに検討すべき必要のある傾向や分野について議論するために、2014 年 11 月の運営委員会において共同セッションを行うことも検討中である。

職業放射線防護についてのギャップや課題および進展についての国際会議

国際原子力機関（IAEA）と国際労働機関（ILO）との共同主催、そして OECD 原子力機関（OECD/NEA）やその他の国際機関との共催による、作業員の防護を高めるための職業被ばく防護についてのギャップや課題および進展についての国際会議が、オーストリアのウィーンで 2014 年 12 月 1 日から 5 日まで開催される予定である。

この会議の目的は、この議題に関する IAEA による最初の国際会議が 2002 年 8 月にスイスのジュネーブで行われて以降の、この分野における進展や課題、また将来的な改善点について議論する場を、職業放射線防護の専門家に提供することである。また、職業被ばく防護に関わっている利害関係者すべてに対して、情報や経験を交換する機会を提供するものである。会議の内容に基づいて、将来の放射線防護のガイドラインのための結論や勧告が策定される予定である。

詳細な情報は、以下で入手することができる。

<http://www.pub.iaea.org/iaecmeetings/46139/orpconf2014>

2014年のISOE 会合／シンポジウムのスケジュール

- ・2014年4月7日（午前）：第5回 EG-SAM 会合（ベルン、スイス）
- ・2014年4月7日（午後）：ISOE ビューロー会合（ベルン、スイス）
- ・2014年4月8日：放射線防護管理および規制機関会合（ベルン、スイス）
- ・2014年4月9日～11日：ISOE 欧州シンポジウム（ベルン、スイス）
- ・2014年6月17日～18日：シビアアクシデントにおける職業放射線防護に関する ISOE 国際ワークショップ（ワシントン DC、米国）
- ・2014年8月末：ISOE アジアシンポジウム（韓国）
- ・2014年11月3日～7日：ISOE 会合（OECD、パリ）（WGDA および運営委員会を含む）

詳しい情報については、
ISOE のウェブサイトをご
覧ください。

ISOE ネットワーク：www.isoe-network.net

OECD/NEA：www.oecd-nea.org/jointproj/isoe.html

IAEA TC：www-ns.iaea.org/tech-areas/rw-ppss/isoe-iaea-tech-centre.asp

NATC：hps.ne.uiuc.edu/natcisoe/

ATC：www.jnes.go.jp/isoe/english/index.html